

社会と手を取り合って、よりよく生きられる未来を

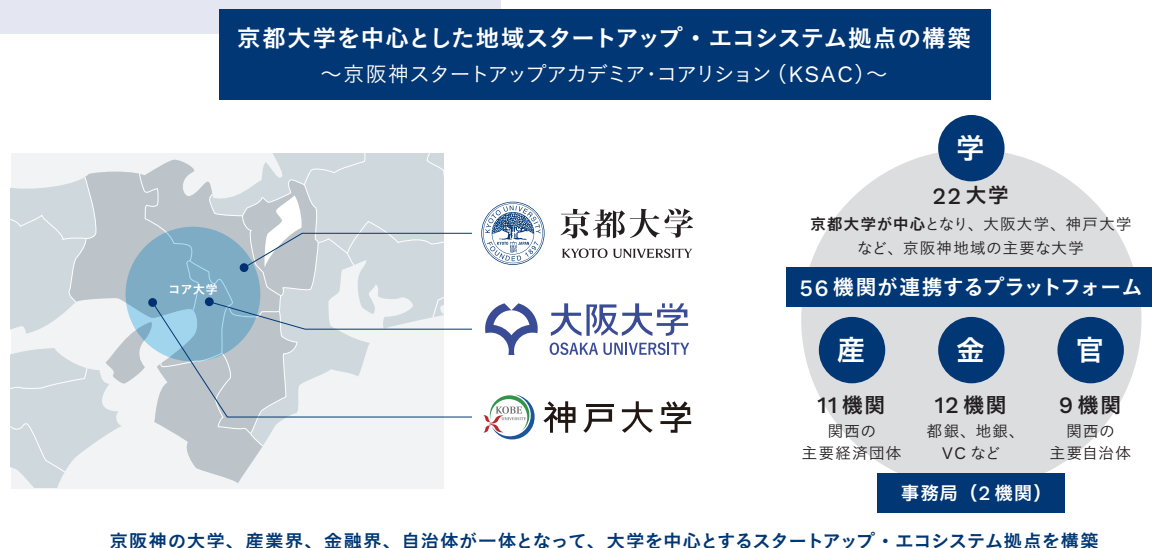
京都大学発の「知」を大胆に社会へ ―産官学連携バリューチェーン「京大モデル」

「世界に開かれた大学として、社会に、そして地球社会の調和ある共存に貢献する」という京都大学の基本理念のもと、多様かつ自由、そして卓越した「知」を社会に伝え、社会が抱える多元的かつ複雑な諸問題の解決に取り組むため、本学は産官学連携活動を推進しています。



本学では、産官学連携の好循環を生み出す仕組みとして「京大モデル」を構築しています。これは本学の産官学連携本部と京大グループ会社4社が有機的に連携することでスムーズかつダイナミックに大型事業、新事業の創出を目指すもので、京都大学において創出された「知」を社会につなげ、価値の最大化、収益の還元を行いながら、教育研究活動を活性化させています。また、組織対組織による共同研究を推進するオープンイノベーション機構がプロジェクトの実行を担うことにより「京大モデル」の実効性を高めています。

「京阪神スタートアップアカデミア・コアリション」による大学発ベンチャーの設立支援



京阪神から、世界に羽ばたくスタートアップを持続的に創出

「イノベーションの担い手」として期待が高まる大学発スタートアップを持続的に創出するためには、地域の大学や産業界、金融界、自治体が一体となって後押しする必要があります。このたび、京都大学が主幹機関となり、大阪大学、神戸大学など京阪神の主要大学および関西の主要な経済団体、銀行、VC、自治体と連携し、「京阪神スタートアップアカデミア・コアリション(KSAC)」を設立しました。この枠組みのもと、産官学金の各業界から総勢56機関が集まり、起業活動支援（GAPファンドの運営）、アントレプレナー教育、起業環境整備、エコシステム形成活動などの取組を進めています。

2021年には、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による「研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム＜大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援＞」の採択プラットフォームに選定され、スタートアップ創出機能のさらなる強化に努めています。

